

その他

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 洪水ハザードマップの作成について | P.3 |
| 2. 浸水想定区域内の感染症指定医療機関について | P.6 |
| 3. 新型コロナウイルス対応可における洪水時の避難について | P.8 |
| 4. NHKとの連携事例について | P.9 |

水害ハザードマップ作成の手引き

～効果果的な避難行動に直結する水害リスク情報を周知するために～

「水害ハザードマップ作成の手引き」の改定（平成28年4月） 背景と改訂のポイント

背景

- 平成27年水防法改正により、**想定最大規模の降雨・高潮に対応した浸水想定**を実施し、これに応じたハザードマップの改定が必要となった
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害では、多数の住民が取り残され救助されるなど、**ハザードマップが配布されていても見ていなかった**
- 従前のハザードマップに記載されている浸水深・避難場所等の情報だけでは**避難行動に結びつかなかった**

改定のポイント

- ◇ 平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえ、市町村において**「早期の立ち退き避難が必要な区域」を検討し、これを水害ハザードマップに明示**するよう、手引きに記載
- ◇ 地域により発生する水害の要因やタイミング、頻度、組み合わせは様々に異なることから、**市町村が事前に「地域における水害特性」等を十分に分析**することを推奨
- ◇ 利活用シチュエーションに応じた**「住民目線」の水害ハザードマップ**となるよう、**「災害発生前にしっかり勉強する場面」、「災害時に緊急的に確認する場面」を想定して水害ハザードマップを作成**するよう手引きに記載

「水害ハザードマップ作成の手引き」の構成

※ 国土交通省ホームページより入手可

第1章 総説

- 1.1 水害ハザードマップの**あり方**
- 1.2 水害ハザードマップの**構成**
- 1.3 対象とする水害
- 1.4 水害ハザードマップ作成・利活用の流れ
- 1.5 水害ハザードマップ作成・利活用における主な役割分担
- 1.6 水害ハザードマップの検証及び見直し
- 1.7 用語の定義

第2章 水害ハザードマップの作成にあたっての**基本事項**の検討

- 2.1 **地域における水害特性・社会特性の分析**
- 2.2 想定最大規模の水害に対する避難の検討
- 2.3 **早期の立ち退き避難が必要な区域**の検討
- 2.4 市町村界を越えた広域的な避難の検討
- 2.5 水害ハザードマップにおける複数災害の取扱いに関する検討

第3章 水害ハザードマップの**作成方法**

- 3.1 利活用シチュエーションの検討
- 3.2 水害ハザードマップの作成範囲(表示区域)
- 3.3 水害ハザードマップの縮尺
- 3.4 地図面での記載事項
- 3.5 情報・学習編での記載事項
- 3.6 多言語対応
- 3.7 作成時の注意事項
- 3.8 水害ハザードマップの作成支援

第4章 水害ハザードマップの**公表・活用方法**

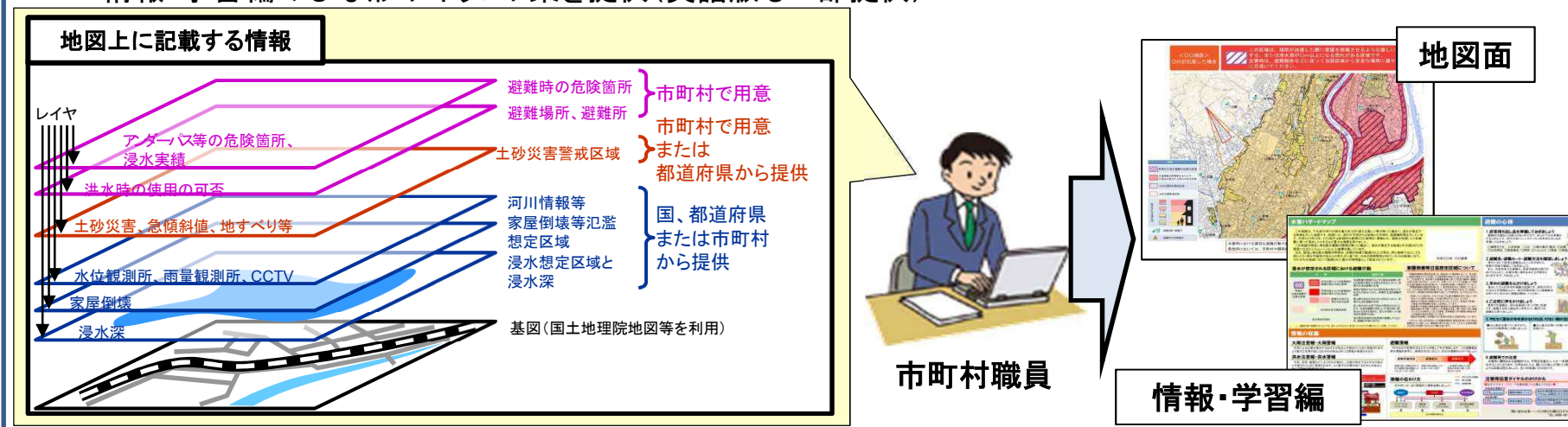
- 4.1 周知・活用の重要性
- 4.2 周知方法
- 4.3 多様な主体と連携した水害ハザードマップの利活用
- 4.4 避難の実効性を高めるための工夫

水害ハザードマップ作成支援ツール

- 市町村における水害ハザードマップ作成の負担軽減のため、必要最低限の情報を含んだ水害ハザードマップ(地図面、情報・学習編)を容易に作成できるツールを構築。
 - ✓ ただし、平時における住民の理解促進や緊急時にも役立つハザードマップとなるよう、各市町村で地域の特性に応じたさらなる工夫を行うことが必要。
- 国土交通省HPにて無償で公開。(平成28年4月～ 提供開始)

水害ハザードマップ作成支援ツールの概要

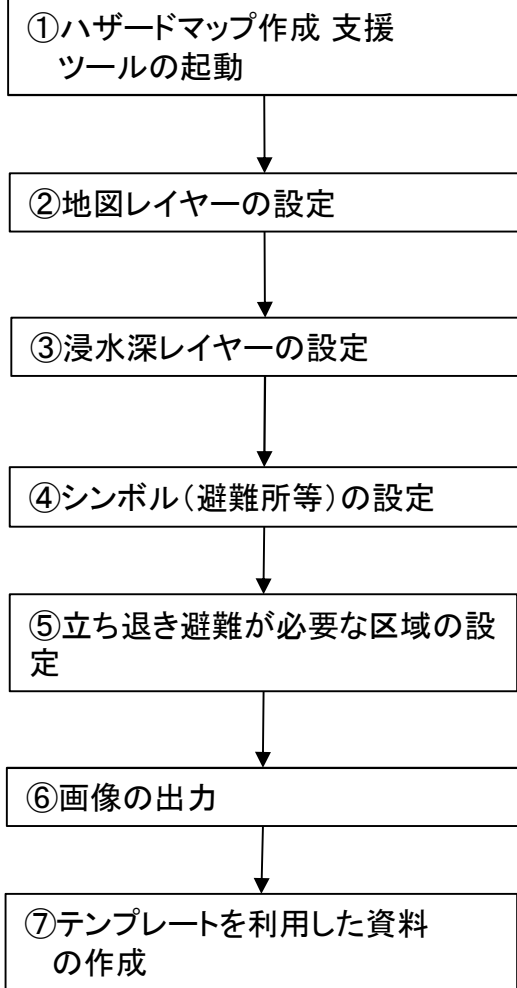
- ✓ 国や県、市町村から提供される浸水想定区域図を地図上に反映
- ✓ 避難場所、地下街等、要配慮者施設等の名称・位置を入力することで、地図上に反映
- ✓ 「早期の立退き避難が必要な区域」や危険なアンダーパス等の情報も同様に地図上に反映
- ✓ 上記内容や凡例等を地理院地図へ重ね合わせた水害ハザードマップの地図面をファイルに出力
- ✓ 情報・学習編のひな形やイラスト集を提供(英語版も一部提供)



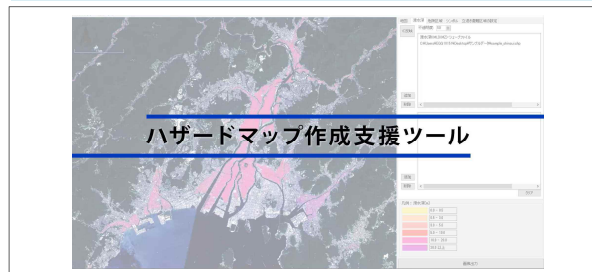
水害ハザードマップ作成支援ツール操作説明動画(約8分)

- 市区町村における水害ハザードマップ作成の負担軽減のため、必要最低限の情報を含んだ水害ハザードマップ(地図面・情報学習面)を容易に作成できる「ハザードマップ作成支援ツール」を国土交通省HPにて無償で公開中
- 「ハザードマップ作成支援ツール」の使い方動画(約8分)を公表 (https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyo_keikaku/saigai/tisiki/hazardmap/index.html)
- ハザードマップ作成支援ツールの起動からハザードマップ作成までの一連の作業工程を動画にて説明

動画の流れ



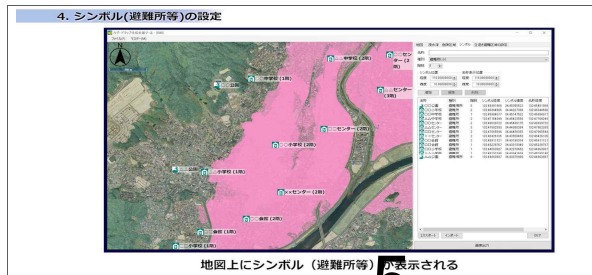
動画イメージ



タイトル画面



②地図レイヤーの設定



④シンボル(避難所等)の設定

作成イメージ



神奈川県大磯町の事例

浸水想定区域内の感染指定医療機関について

平成29年に水防法の一部が改正され、市町村の地域防災計画に位置づけられた要配慮者利用施設については、避難確保計画の作成及び訓練の実施が義務づけられています。

昨今の新型コロナウイルス感染症への対応を鑑み、感染症指定医療機関について当協議会に係わる千曲川・犀川の浸水想定区域内に存する医療機関を下表にまとめたので周知致します。なお下表以外の医療機関については、他の河川の浸水想定区域図の範囲内に入るか各関係機関で確認をお願いします。

水害発生時には適切な対処ができるよう、体制の検討をお願いすると共に避難確保計画を作成していない感染症指定医療機関がありましたら、関係機関と連携し対応をお願い致します。

避難に関する計画作成の事例集を以下に記載しますので、参考としてください。

※参考になる資料

- ・「要配慮者利用施設における避難に関する計画作成の事例集」
(平成31年3月 内閣府(防災担当)・消防庁・厚生労働省・国土交通省・気象庁)
(URL:<http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/pdf/hinanjireishu.pdf>)
- ・非常災害対策計画の作成のポイント (P4)
- ・病院の事例：今井整形外科医院 (P81～105)、鷺沼産婦人科医院 (P106～126)

・千曲川・犀川にの浸水想定区域範囲内にある医療機関

病院名	浸水深 (想定最大規模)	所在地
長野県厚生農業協同組合連合会 長野松代総合病院	5～10m (大部分は3～5m)	長野市
長野赤十字病院	0.5～3m	長野市

No.	病院名	病床数			所在地
		感染症病床	結核病床 (稼働病床)	一般病床又は 精神病床	
241	杉田玄白記念公立小浜病院	2床	8床		福井県
242	市立甲府病院	6床			山梨県
243	北社市立甲陽病院	4床			山梨県
244	公益財団法人山梨厚生会 山梨厚生病院	4床			山梨県
245	峡南医療センター企業団 富士川病院	4床			山梨県
246	国民健康保険富士吉田市立病院	4床			山梨県
247	大月市立中央病院	4床			山梨県
248	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院	2床	16床		山梨県
249	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院佐久医療センター	4床			長野県
250	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター	4床			長野県
251	岡谷市民病院	4床			長野県
252	伊那中央病院	4床			長野県
253	飯田市立病院	4床		2床	長野県
254	長野県立木曾病院	4床			長野県
255	松本市立病院	6床			長野県
256	市立大町総合病院	4床			長野県
257	長野県厚生農業協同組合連合会 長野松代総合病院	4床			長野県
258	長野県立信州医療センター	2床	24床		長野県
259	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院	4床			長野県
260	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院			2床	長野県
261	独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター		21床		長野県
262	長野赤十字病院			2床	長野県
263	岐阜赤十字病院	6床			岐阜県
264	大垣市民病院	6床	40床		岐阜県
265	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院	6床		6床	岐阜県
266	岐阜県立多治見病院	6床	13床	2床	岐阜県
267	岐阜県厚生農業協同組合連合会 飛騨医療センター 久美愛厚生病院	4床	8床		岐阜県
268	独立行政法人国立病院機構 長良医療センター		30床		岐阜県
269	県北西部地域医療センター 国保白鳥病院		4床		岐阜県
270	下田メディカルセンター	4床			静岡県
271	公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院			2床	静岡県
272	国際医療福祉大学 熱海病院	4床			静岡県
273	裾野赤十字病院	6床			静岡県
274	富士市立中央病院	6床	10床		静岡県
275	静岡市立静岡病院	4床			静岡県
276	市立島田市民病院	6床			静岡県
277	磐田市立総合病院	2床			静岡県
278	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	4床			静岡県
279	浜松医療センター	6床			静岡県
280	浜松市国民健康保険佐久間病院	4床			静岡県
281	静岡県立総合病院		50床		静岡県
282	静岡済生会総合病院			2床	静岡県
283	藤枝市立総合病院			3床	静岡県
284	独立行政法人国立病院機構 天竜病院		20床		静岡県
285	社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷三方原病院		20床		静岡県
286	名古屋第二赤十字病院			9床	愛知県
287	名古屋市立東部医療センター	10床			愛知県
288	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	6床			愛知県
289	公立陶生病院	6床	25床		愛知県
290	一宮市立市民病院	6床	18床		愛知県
291	春日井市民病院	6床			愛知県
292	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院	6床			愛知県
293	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	6床		2床	愛知県
294	岡崎市立愛知病院	6床	25床		愛知県
295	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	6床			愛知県
296	豊橋市民病院	10床	10床		愛知県
297	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院		40床		愛知県
298	大同病院		10床		愛知県
299	豊川市民病院		8床		愛知県
300	独立行政法人国立病院機構 東尾張病院			4床	愛知県
301	独立行政法人労働者健康安全機構 旭労災病院			2床	愛知県
302	公立西知多総合病院			10床	愛知県
303	三重県厚生農業協同組合連合会 三重北医療センターいなべ総合病院			2床	三重県
304	三重県立総合医療センター	4床			三重県
305	市立四日市病院	2床			三重県

避難の考え方(新型コロナウイルス感染症)(案)

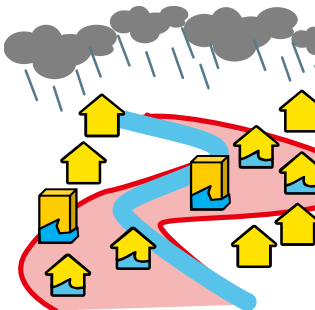
1. 災害が想定される地域では
ためらわず避難行動を

2. 命を守るための**緊急的な**
避難場所も選択肢に

3. 避難場所での
感染症対策の徹底

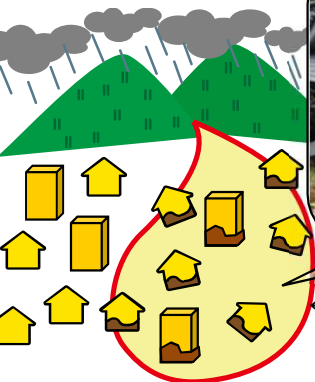
事前に**ハザードマップ**等を確認

・浸水が想定される地域

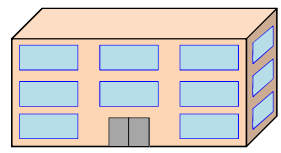


←浸水が
想定される地域

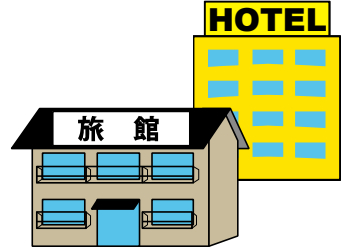
・土砂災害が想定される区域



←土砂災害が
想定される区域



市町村の
指定緊急
避難場所

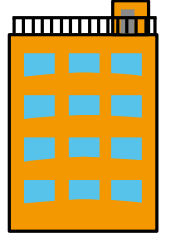


宿泊施設等

自宅



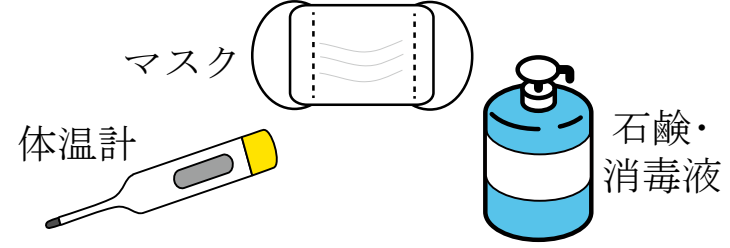
親戚、
友人の家



※頑丈な建物の高い階や
浸水が想定されない地域等

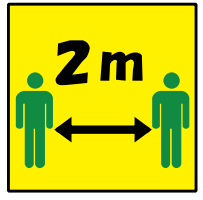
手洗い・消毒の徹底
定期的な検温・症状チェック

✓持ち物に追加



3密を避ける
(密閉・密接・密集)

2 m以上の
距離を保つ



背中
合わせ

・段ボール等
で間仕切り



換気

・発熱等の
症状がある
人のための専用スペース

※避難行動・避難生活に必要な物(食料(最低3日分) 8 衛生用品等)は、自助として各自で準備しましょう。

参考) 内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁、厚生労働省「避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について」令和2年4月7日、
避難所・避難生活学会「COVID-19 禍での水害時避難所設置について」令和2年4月15日

出水期に備え、住民への河川情報の伝え方を確認

令和元年東日本台風による出水を受け、千曲川河川事務所とNHK長野放送局では、住民に対し洪水時の河川の状況をどのように伝えていけばいいかCCTVカメラ画像の解説を中心に意見交換を行い、出水期に備え住民に伝える情報について確認を行いました。



NHK長野放送局のアナウンサーの皆様との意見交換

意見交換会の内容

【NHK】

- 台風19号出水の際、避難した住民が自宅に戻ることがあった。雨が降っていなくても危険な状況であることを報道していく必要があると感じた。
- 千曲川には多くのカメラがあるが切迫感が伝わる場所を選定し、伝える内容を決めていきたい。
- 普段の川幅と洪水時の川幅の違いや、台風19号洪水時の最高水位などを情報に盛り込むと危険度が伝わる。

【国交省】

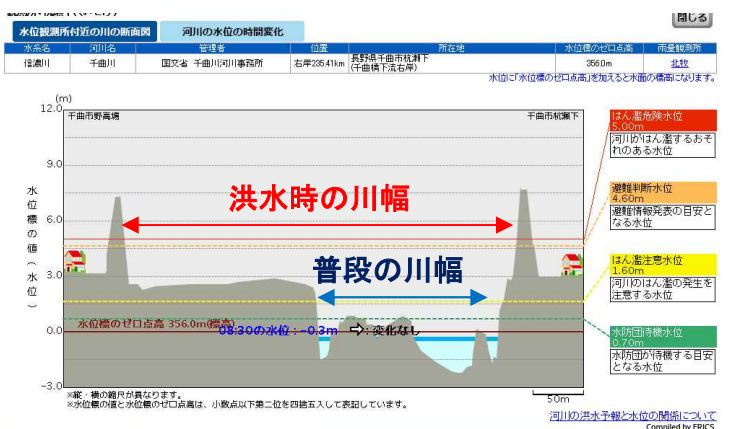
- 洪水予報基準観測所には「わかりやすい量水標」を設置しており、CCTVに映し出すことで危険度が伝わると思われる。普段は全景にしている画角を量水標が見えるように画角を変更することを考えている。
- 氾濫危険水位や避難判断水位が避難行動の目安になる。
- 洪水予報文には、今後の降水量や水位上昇の見込みが記載されており、画像と一緒に情報を入れてもらおうと伝わり易いと思う。
- 水害リスクラインについても画像の活用も危険度が伝わると思われる。



CCTV画像(普段の状況)



洪水時には「みやすい量水標」に画角を変え、緊迫している状況を住民に伝えるよう工夫



河川水位の状況を伝えるため川の水位や川幅を川の防災情報により解説



意見交換会の結果、洪水予報基準観測所(生田、杭瀬下、立ヶ花、小市)、周知河川基準水位(陸郷、熊倉)、飯山市(中央橋)について情報を整理することとした。